

報告事項ヒ

全国海女文化保存・振興会議について

全国海女文化保存・振興会議について、別紙のとおり報告します。

平成26年3月21日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 全国海女文化保存・振興会議について

平成26年3月21日  
文化財課

文化財保護や水産振興の面から海女漁の存続を図るため、三重県及び石川県の呼びかけで、8県（岩手、宮城、静岡、三重、徳島、石川、福井、鳥取）による「全国海女文化保存・振興会議」設立総会を平成26年1月24日に開催しました。

## 1 目的

我が国にとって、貴重な伝統的な漁法である海女漁（女性による素潜り漁）を守り伝えている県が、文化財保護や水産振興の面から、海女漁の存続を連携して図ることを目的とする。

## 2 組織体制

会長	鈴木 英敬	三重県知事
副会長	谷本 正憲	石川県知事
委員	達増 拓也	岩手県知事
	村井 嘉浩	宮城県知事
	川勝 平太	静岡県知事
	西川 一誠	福井県知事
	平井 伸治	鳥取県知事
	飯泉 嘉門	徳島県知事
事務局	三重県教育委員会	



※事務局には、各県担当課による「連絡会議」が設置され、当会議の実質的な運営が行われる。

## 3 設立宣言の骨子

○海女漁の文化財としての位置付けや価値の情報共有を図り、保護措置を検討する。

○海女漁の振興策についても検討し、海女漁の存続継承により地域活性化を図る。

（ ※海女文化保存の目標としては、国の無形文化財指定及びユネスコの無形文化遺産登録。  
※海女漁の振興策については、各県担当課による「連絡会議」で具体的に検討。 ）

## 4 本県における取組

本県では、平成26年度当初予算で新たに次の取組を検討している。

### (1) 夏泊海女漁ブランド化支援事業（担当課：水産課）

鳥取県漁協夏泊支所が行う海女漁PRグッズの作成及び地元朝市の開催に必要な漁獲物（素潜り漁、定置網漁獲物等）をストックするための冷蔵庫整備に対する支援。

### (2) 「夏泊の海女漁」詳細調査（担当課：文化財課）

県指定無形民俗文化財の候補である「夏泊の海女漁」に関する専門家による現地聞き取り調査及び文献資料調査。